



2025～26 年度  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ

# Weekly Report Niigata



2025～26 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
佐藤 邦栄

新潟 RC 1 月第 2 例会 (2026.1.13) No.3585

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 会長の時間（佐藤 邦栄会長）

先週、10 日土曜日、テレビを見ていたら、白山神社からの中継があり、小林宮司が出演されていたので、その後、今年 3 度目の参拝に行っていました。お天気も良く、大勢の参拝客で賑わっていました。そして、TV 中継でも紹介されていましたが、今年は午年ということで、本殿に白山神社の宝物である、「野馬の図」描いたのは狩野元信（1476—1559）が飾られています。これは、上杉謙信が活躍したころの戦国時代で、白山神社がまだ信濃川の中州にあったところに描かれたとされる貴重な絵だということです。そして、この野馬をモチーフとして、切り絵の御朱印も 1,000 円で販売されていたので、青・赤と 1 色ずつ購入してきました。白山神社にお守りいただき、今年 1 年を過ごしていきたいです。さて、小林宮司によれば、午年は「勝負運」「出世運」の象徴で、活気あふれる年になると言われているようで、馬のスピード感、長期戦よりもここぞという瞬間の爆発力に長けているところや、「先陣を切る」という言葉のように、誰もやりたがらないことや新しいことに挑戦することから、飛躍の年になると言われているようです。また、高橋 PG より、毎年、手書きの素晴らしい年賀状を頂戴していますが、今年の年賀状にて、「新しいことに挑んでいく姿勢」を評価いただきました。高橋 PG からは、昨年の月見例会でも、同様に、伝統と革新のお話をいただき、新しいことに取り組むことが、結果的には伝統を守ることに繋がると、その意義のお話をいただきました。今年 1 年も「先陣を切る」の言葉のように、新しいことに挑んでまいりたいと思います。

一方で、86 年の歴史をもつ、新潟クラブの伝統も同時に守っていかなければなりません。私は、何か新しい取り組みする際には、極力、頼れる新潟クラブのベテランの会員に相談してきました。時には、私がわからないこともご指導いただき、それぞれの活動があることの意味を論じていた

ただき、方向転換をしたことも多々ありました。午年は、勢いが強すぎる余り、独断専行に陥るというマイナス面もあるようですので、今年も、会員の皆様の声を聴きながら、伝統と革新を大切にしながら、新潟クラブを率いてまいりたいと思います。

引き続きの会員各位のご協力をお願い申し上げまして、会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(3) ご家族の紹介

石 本 陽 子さん  
石 橋 モユ子さん  
小 木 知 未さん  
坂 井 文 子さん  
坂 本 典 子さん  
高 橋 歩さん

(4) 1 月 13 日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
81	81	55	62.90%

1 月 20 日の例会プログラム

{職業奉仕について}

小山 楯夫情報委員長

新潟ロータリークラブホームページアドレス  
<http://www.niigatarc.jp/>

## 新年家族会

- 18:00 懇親会開会  
司会 黒田達也親睦委員  
開会挨拶 佐藤 邦栄会長  
乾杯 石本 隆太郎PG
- 18:10 古町芸妓の手踊り  
歓談
- 19:00 新潟総踊り
- 19:20 各種お祝い品贈呈  
歓談
- 19:50 手に手つないで
- 19:55 中々 高橋 秀樹PG
- 20:00 お開き

